

オリーブ (モクセイ科・オリーブ属 常緑小高木)



出典：庭木図鑑 植木ペディア



出典：庭木図鑑 植木ペディア



出典：ヤサシイエンゲイ

オリーブの特徴 (花言葉：平和、知恵)

オリーブは涼しげでとても感じがよい観葉植物です。実はオリーブオイルの原料としても知られていますが、ピクルスにしたり、花はポプリとしても利用する事ができます。観賞用の鉢植えや、暖地では庭植えのシンボルツリーとしても人気があります。温暖で日当たりがよく水はけのよい土壌を好み、5月から6月頃に小さな白い花を咲かせ、10月頃に黒い実を成らせます。樹木はゆっくりとしたスピードで成長し、7m以上になるには20年ぐらいかかります。

オリーブの種類

1. 実がピクルスに向いているもの ●マンザニコ
2. 実がオイルとして利用されるもの。●アルベキナ●ルッカ●ネバティブランコ
3. 実がピクルス、オイルに向いているもの。●ミッション

庭木の植え付け場所

風通し、日当たり、水はけのよい所を好みます。粘土質や固い土でいつも湿っているような所や酸性土壌を嫌うので深植えしないように植え付けます。根が浅く強風で倒れやすいので支柱で支えておくようにします。時期は春の3月から4月頃、暖地では秋の9月下旬から10月頃も行えます。

鉢植えの場所

春から秋は戸外の日当たりのよい場所で育てます。冬は日当たりのよい軒下などで霜に当てないようにして育てるとよいです。氷点下になる地域では室内に入れて凍らせないようにします。1月の花芽分化期は10度以下の低温に当てないと花芽が出来ないので暖房の効いた場所には置かないようにします。

水やり

停滞水を嫌うので、鉢植えでは排水性のよい土に植えて鉢土の表面が乾けば与えればよいです。耐乾性はありますが、花期の5月頃から夏の間は乾かし過ぎないように注意します。庭植えは植え付け後しばらく乾かし過ぎないように注意しますが、根付いているものは特に与えなくてもかまいません。

用土

水はけのよい土を好み酸性土を嫌うので、赤玉土(小粒)5、腐葉土3、パーライト2ぐらいに苦土石灰を少し混ぜるとよいです。